

平成20年度 企業内家庭教育学習講座（フォーラム）

滋賀中央信用金庫



社会みんなで「こころ」を育む営みを

- 期日 平成20年7月2日（水）
平成20年7月3日（木）
- 時間 午後5時～6時
- 会場 本部 本館3階会議室
（彦根市中央町5-9）
本店 4階大研修室
（近江八幡市桜宮町198）
- 対象 職員32名 職員27名（2日間59名）
滋賀県家庭教育協力企業協定制度締結企業

■ はじめに...

1. 滋賀県家庭教育協力企業協定制度とは？

「家庭の教育」に企業の力を！（5つの取組の内、2つ以上の取組を推進）

2. 「ヒト」が「ひと」として育つための協働した「営み」を

「家庭」という場を見つめ直しましょう。

- ・ 家庭での「育み」はすべての出発点
- ・ 「ヒト」から「ひと」へ生きることの基本を学ぶ場
- ・ 家庭の役割 → 子どもを伸ばすという視点
→ 子どもをしつけるという視点

「学校」（保幼・小・中・高）をもっと開いていきましょう。

- ・ 子どもが自分とその家族以外の人と初めて深く交わる場所
- ・ 人との関わり方のあるべき基本を学ぶ場
- ・ 子どもの集団に外の風を...隙間をつくることの大切さ

「地域」みんなで支え合っていきましょう。

- ・ 子どもが「自然に育つ」ための条件...家族や同年代の友だち以外の人との協調や葛藤
- ・ 各家族が内へと閉じてしまう現象
- ・ 少し距離をおいて見守るようなまなざし...安心感
- ・ 地域社会で十分に採られることなく、家庭から、学校から、
...いきなり公的空間へ

「企業」も地域における子どもたちの「育み」をともに担っていただけませんか？

- ・ 職場のある地域のみならず、住まいのある地域での社員の「市民」としての活動支援
- ・ 企業人は同時に市民であり生活者

3. 現代社会における「こころ」を「育む」を考える

- ・ 思いどおりにならないことのある存在を知る 生命の営み
- ・ 子どもたちの夢や希望を育む営み
- ・ 情報社会という環境 利点とさまざまな弊害

■ 終わりに...

- ☐ いつの時代も、子どもは大人を見て育つ。
- ☐ わたしたち一人ひとりが「できること」から始めましょう。



未来を担う子どもたちを育てる大切な営みを、社会みんなで支え合うため、私たち一人ひとりに「できること」からはじめましょう。